

手をつなぐ親の会と芝山町

これからも町内で暮らしていくために
町内に障害者施設があれば

(松)自分たちも歳を取ってしまい、いつまで面倒を見るのができるか不安。何かあったときに短期入所できたり、ちょっと出掛けるときに預けられるような施設があればと思います。

(木)今は問題ないですが、今後は親の介護などもしなければならぬので、町内に将来入所できる施設が欲しいです。

(掘)私も、今は問題ないですが、主人の父親の介護もしていて手いっぱいです。自分もいつ病気になるか分からないし、将来に不安があります。

(荒)これからも町内で暮らしたいと思うし、町外の施設では何かあったときに駆け付けられるのが大変なので、町内に施設が欲しいです。

(町)町で障害者施設を設置するには民間事業者の協力が必要で、現時点でそのような相談はありません。そのため設置することは難しいですが、これから関係者と話す機会があれば、本内容について協議していきます。

障害を持つ人に向けた移動支援策のさらなる充実について

(松)現在、町外の施設に通っており、送迎

は自宅付近の商業施設まで来てもらっています。自力で乗降できないので、あいタクシーは利用できません。何か送迎してもらえるサービスはありませんか。

(町)町職員による送迎はできませんが、当町では自家用車で送迎される方も多いため、今年度から「自動車燃料費助成制度」を開始しました。ご家族の負担軽減のための制度なので、ぜひ利用していただきたいと思います。

災害が起きたときに
安全に避難できる体制づくりを

(荒)ヘルプマークやヘルプカード以外に「重要な書類は〇〇に置いています」などが記載されたシール等を作成できないでしょうか。障害のある子が一人を取り残されてしまうような状況になった場合、救急隊が来ても何もできません。

(町)現在「障がい福祉のしおり」の概要版の作成を進めています。最終ページに緊急連絡先や常用薬などを記載できるページを作り、ホームページで公表する予定なので活用してください。

警察や消防とも情報共有を図りたいと思っています。要支援者名簿を警察や消防、民生委員などへ提供しているほか、個別避難計画の作成も進める予定です。



交換会

障害を持った方やその家族はどんな悩みを抱えているのか。快適な暮らしのために町は何ができるのか—。

このページでは、8月30日に実施された手をつなぐ親の会の皆さんと芝山町長による意見交換会の内容をお伝えします。

周りの人に迷惑を掛けてしまいそうで避難所が利用しづらい

(松) 避難所では、周りの人に迷惑を掛けてしまわないか心配です。

(堀) 以前の台風の際、10日間停電しましたが、避難所にはいかず車のエアコンで何とか対応しました。障害を持った子は、我慢できず周りに人がいると興奮してしまふことがあるので。

(町) 6月に福祉センターに非常用電源を設置しました。災害時には、福祉避難所として機能するので利用していただきたいと思えます。その際、状況にもよりますが個室の利用も検討します。

また、千葉県で福祉専門職を避難所へ派遣するDWAATという取り組みを導入しています。宿泊の場合は、山武圏域の福祉避難所がいくつかあるので、その都度町へ相談してください。

(荒) 以前、小学校に避難した際、福祉保健課の方が気をつかって福祉センターに部屋を用意してくれたことがあります。非常にありがたかったのですが、手前の道路が冠水していて、行くことができませんでした。

(町) 道路が冠水していたという件に関しては、道路建設係に伝えます。また、災害

関係に対しては、自治振興係なども情報共有しながら対応していきたいと思えます。

障害者福祉の増進に向けてともに活動する仲間を増やしたい

(原) これまで何人か会員になってくれましたが、途中でやめてしまいました。障害を持った方やその家族が元気で快適に暮らしていくため、悩みを分かち合ったり情報交換できる仲間が増えたら嬉しいです。

(町) 町では、新たに療育手帳を取得した方に、手をつなぐ親の会について周知しています。別途会員募集をしたい場合は、パンフレットなどを作成してラックに設置することもできるので、要望があればご相談ください。

障害を持った方が暮らしやすい町をつくるために

(町) 今回の意見交換会を通して、障害をもった方やそのご家族の快適な暮らしのためには、情報の共有が大切だとあらためて感じました。

今後、何かあれば遠慮なく相談や情報提供をしていただき、ともに手を携えて、皆さんにとって暮らしやすい町をつくっていかれたらと思います。

手をつなぐ親の会×芝山町長



参加者紹介 (左から)

松本 小夜子さん
-会長-

会員が一丸となり活動できるようリーダーシップを発揮する親の会会長。

木村 とし子さん
-副会長-

美しい町づくりのため、花植えのスペシャリストとして活躍している。

荒井 尚美さん
-副会長-

知的障害者相談員として、障害を持っている方などからの相談に応じている。

堀越 由美さん
-会計・書記-

現会員の最年少。持ち前のバイタリティで、親の会の活動を盛り上げている。

原口 文子さん
-監事-

長年の活動で培った経験と知識を生かし、障害者福祉の増進に尽力している。